

第2次五島市食育推進計画の施策の進捗状況 (令和2年度)

五 島 市

第2次五島市食育推進計画の令和元年度達成状況について

数値目標設定項目（17項目）のうち、41%（7項目）が目標値を達成

数値目標の達成区分	項目数	基準
【A】最終目標値を上回っている	7	目標値を上回っている
【B】改善傾向にある	3	目標値の8割以上でH26より上昇
【C】変わらない	5	目標値の8割以上でH26より低下か横ばい または、目標値の8割未満でH26より上昇
【D】悪化している	2	目標値の8割未満でH26より低下か横ばい

No.	項目	令和2年度 目標値	令和2年度		令和3年度	担当課
			達成 区分	実施状況	課題・方針	
1	朝食を毎日食べる小・中学生の割合	100%に 近づける	A	95.7%（小6）、94.7%（中3） （R2全国学力学習状況調査から）	目標値を上回っている。今後も改善に取り組む。	学校教育課
2	3歳児健診の1人あたりのむし歯	1本	A	0.68本	目標値は達成しましたが、市の「子ども・子育て支援事業計画」に合わせ、新たな指標を設けて取り組む。	国保健康政策課
3	バランスよく朝食を食べる幼児の割合（3歳児）	60%	B	54.1%	母子事業において朝食摂取を重視した指導を実施する。	国保健康政策課
4	学校給食の1人1日当たりの平均残渣量	6.0g	B	学校給食の1人1日当たりの平均残渣量は、6.4gである。	教育委員会総務課や栄養教諭・栄養職員と連携を図りながら、平均残渣量を減らしていく。	教育委員会総務課
5	1学級あたりの栄養教諭及び栄養職員の1年間の食育指導訪問平均回数	年間3回	A	1学級あたりの栄養教諭及び栄養職員の1年間の食育指導訪問平均回数4.6回である。	教育委員会総務課や栄養教諭・栄養職員と連携を図りながら、食育指導訪問回数を確保していく。	学校教育課
6	「食育だより」等の発行	年間3回	A	1年間の「食育だより」の平均発行回数は、学校13.8回、保育園11.6回	教育委員会総務課や栄養教諭・栄養職員と連携を図りながら、「食育だより」等の発行を促す。	学校教育課 社会福祉課
7	食育に関する認知度（意味も言葉も知っていた）	80%	B	74.1%	広報、各事業を通して周知に努める。	国保健康政策課

No.	項目	令和2年度 目標値	令和2年度		令和3年度 課題・方針	担当課
			達成 区分	実施状況		
8	主食・主菜・副菜がそろった食生活が概ね出来ている人の割合	80%	C	73.3%	改善が見られなかったため、さらに基礎的な指標に変更し取り組む。	国保健康政策課
9	「朝食を抜くことが週3回以上ある」市民の割合	20%以下	C	男性（40～44歳）21.7%	男性で改善が見られなかったため、新たな指標を設け取り組む。	国保健康政策課
10		20%以下	A	女性（40～44歳）16.7%		
11	食生活改善推進員の人数	60名	C	42名	活動体制作りの支援を行う。	国保健康政策課
12	農林水産物利用を進めるための体験の回数	12回	A	郷土料理普及活動2回 お魚料理教室12回実施 計14回	中学校からの依頼に応じて開催（4校予定） お魚料理教室は五島市内の小・中・高校を対象として10回のお魚料理教室を行う。	農林課 水産課
13	グリーンツーリズム等の民泊利用数	5,000人	D	0人 ※新型コロナウイルスの影響により受入なし	コロナ禍に対応した受入体制を整備する。	観光物産課
14	学校給食における地場産物（野菜）利用量割合	65%以上	D	学校給食における地場産物（野菜）利用量割合は45.3%である。地元業者の野菜確保量などが要因である。	教育委員会総務課や栄養教諭・栄養職員と連携を図ると共に、食育推進幹事会議等で市関係課等にも協力を呼びかけていく。	教育委員会総務課
15	直売所の年間販売額	750,000千円	C	700,270千円	新型コロナウイルスの影響で販売額が低下した。 感染状況をみて改善していく。	農林課
16	カネミ油症の実態を知っている市民の割合 (小学生以上)	100%	C	86.2%	学校への出前講座を行う。	国保健康政策課
17	食品の安全性に関する情報発信する回数	10回	A	11回	目標値は達成。新たな指標を設け取り組む。	国保健康政策課

第2次五島市食育推進計画に係る施策の進捗状況

基本理念：ごとうの豊かな恵みを活かし食を通じて健全な心とからだを育む

基本方針： 健全な「身体」を育む 豊かな「心」を育む 元気な「地域」を育む

基本施策：1. 家庭における食育の推進

具体的な取り組み	No.	事業	実施状況	担当課
(1) 望ましい食習慣や知識の習得	1	若い世代の料理教室	【出前講座・食育講座】 内容：「子どもの食育」講話 回数：5回 参加者：279名	国保健康政策課
	2	乳幼児健診・相談・母親教室・訪問事業における望ましい食習慣の啓発	【乳幼児健診・相談時栄養指導】 内容：離乳食、幼児食指導 回数：72回 参加者：延964名 【母親教室】 内容：講話「バランスの良い食事」 回数：9回 参加者：延30名 【離乳食教室】 内容：講話・実習 回数：10回 参加者：延38名	国保健康政策課
	3	乳幼児健診・相談・母親教室における歯科保健活動の実施	【歯科個別指導】 10か月児健診（15回198名）、 1歳6か月児健診（15回199名） 3歳児健診：むし歯のあった幼児及び相談者（16回50名） 【個別歯みがき指導】 2歳児健康相談（15回210名） 【歯科フォロー】 1歳6か月児健診、2歳児健康相談でむし歯のあった幼児（3回4人） 【母親教室時歯科指導】 3回 延12名 【乳幼児相談】 12回 延22名	国保健康政策課

具体的な取り組み		No.	事業	実施状況	担当課
(2) 生活リズム向上のための取組	乳幼児期からバランスのとれた朝食を摂るための「朝ごはん」活動の推進	4	「朝ごはん」推進活動の実施	【乳幼児健診・相談時栄養指導】 内容：朝食指導、リーフレット配布 【出前講座・食育講座】 回数：5回 参加者：279名	国保健康政策課
(3) 健やかな高齢期を送るための食育の取組	男の料理教室、介護予防のための栄養指導の充実	5	健診後対象者フォロー	【集団健診：結果説明会】 内容：食生活改善指導 【出前講座】 内容：「高齢者の食育」講話 回数：5回 参加者101名	国保健康政策課
		6	おとこの料理教室	内容：男性を対象に簡単に作れる料理の紹介や料理に親しむ機会を持ってもらうための料理教室 計6回開催、参加者数16名、延べ参加者数80名	長寿介護課

◆数値目標の進捗状況 1. 家庭における食育の推進

項目	基礎値 (H26)	R2		目標 (R2)	担当課
		実績	達成区分		
朝食を毎日食べる小・中学生の割合 (H26全国学力学習状況調査)	小学校6年生 89.4%	95.7%	A	100%に近づける	学校教育課
	中学校3年生 86.5%	94.7%		100%に近づける	
3歳児健診の1人あたりのむし歯	1.39本	0.68本	A	1本	国保健康政策課
バランスよく朝食を食べる幼児の割合 (3歳児)	44.4%	54.1%	B	60%	国保健康政策課

基本施策：2. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校における子どもの成長に応じた食育の推進

具体的な取り組み		No.	事業	実施状況	担当課
(1) 保育所・幼稚園・認定こども園における食育の推進	発達段階に応じた指導の推進	7	保育所等における食育指導の推進・協力、五島市保育会に研修事業を委託	各保育園等の栄養士及び保育士等が参加し、食育研修会を実施した。(参加者 15名)	社会福祉課
	体験活動・給食等を通じた食育の推進	8	農作物の栽培・収穫などの実施に関する協力・支援(各保育園で実施)	各保育園等において、農作物の栽培・収穫などを実施した。	社会福祉課
	家庭・地域と連携した食育の推進	9	給食便り等の発行の支援 保育フェスタ中での食育コーナーに関する啓発活動	各保育園において、お便り等を通しての食育啓発活動や子育て支援における講座を実施した。	社会福祉課
(2) 学校における食育の推進	学校教育活動を通じた指導体制の充実	10	「食育全体計画」、「食育年間指導計画」の作成と推進	栄養教諭・栄養職員を中心に、「食育全体計画」、「食育年間指導計画」の作成と推進が行われている。	学校教育課
	指導者の資質向上と食育指導の充実	11	地区別食育推進委員会の開催 栄養教諭(栄養職員)による食育指導	栄養教諭・栄養職員を中心に、地区別食育推進委員会の開催や食育指導を計画的に行っている。	学校教育課
	家庭・地域と連携した食育の推進	12	給食便りの発行 給食試食会の開催	栄養教諭・栄養職員を中心に、給食便りの発行が行われている。給食週間には、市長訪問、教育委員訪問等も実施した。	学校教育課

◆数値目標の進捗状況 2. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校における子どもの成長に応じた食育の推進

項目	基礎値(H26)	R2		目標(R2)	担当課
		実績	達成区分		
学校給食の1人1日当たりの平均残渣量	8.08g	6.4g	B	6.0g	教育委員会総務課
1学級あたりの栄養教諭及び栄養職員の1年間の食育指導訪問平均回数	年間1～2回	4.6回	A	年間3回	学校教育課
「食育だより」等の発行	年間1～2回	保育園 11.6回 学校 13.8回	A	年間3回	社会福祉課 学校教育課

基本施策：3. 地域における食生活の改善に向けた取組みの推進

具体的な取り組み	No.	事業	実施状況	担当課
(1) 生活習慣病予防のための取組 ご飯を中心とした日本型食生活で栄養バランスのとれた食事の推進	13	食育推進料理コンテスト	【食育推進料理コンテスト】 応募数：294 作品 最優秀賞：(小学生部門) まるごとかぼちゃ (中・高生部門) 五島産なすとかぼちゃのゴロゴロミートパイ	国保健康政策課
	14	ホームページ・広報等を通じた情報発信 出前講座へ「食育講習会」の登録	広報誌、ホームページへ食育推進料理コンテストメニュー、食育情報の掲載。出前講座 12 件実施	国保健康政策課
	15	健診結果説明会・保健指導・健康相談・各種健康づくり教室	【集団健診：結果説明会】食生活改善指導 【健康相談】食生活改善指導 【出前講座】内容：働き盛り世代の食育 回数：4 回 参加者：75 名	国保健康政策課
(2) 食育に関する人材の育成 食生活改善推進員の育成	16	食生活改善推進員育成・養成講座	【食生活改善推進員学習会】 回数：9 回 参加者：延 82 名 【食生活改善推進員養成講座】 回数：12 回 参加者：延 77 名	国保健康政策課
(3) 継続的な食育運動の展開 食育の定着と浸透を図るための「食育スローガン」の普及活動	17	各種イベント・広報等を通じた「食育スローガン」の普及	【食育スローガン：エプロン着用】 食育講話・調理実習時にエプロンを着用 【食育スローガン：ティッシュ配布】 乳幼児健診等で配布 【食育関係文書への食育スローガンの記載】	国保健康政策課

◆数値目標の進捗状況 3. 地域における食生活の改善に向けた取組みの推進

項 目	基礎値 (H26)	R2		目 標 (R2)	担当課
		実 績	達成区分		
食育に関する認知度 (意味も言葉も知っていた)	63.1% (H27)	74.1%	B	80.0%	国保健康政策課
主食・主菜・副菜がそろった食生活が概ね出来ている人の割合	77.2% (H27)	73.3%	C	80.0%	国保健康政策課
「朝食を抜くことが週3回以上ある」市民の割合	男性(40~44歳) 26.3% 女性(40~44歳) 24.5% (H25国保特定健診結果)	21.7% 16.7%	C A	20%以下 20%以下	国保健康政策課
食生活改善推進員の人数	39名	42名	C	60名	国保健康政策課

基本施策：4. 生産者と消費者との交流促進と食文化の継承

具体的な取り組み	No.	事業	実施状況	担当課	
(1) 地域資源を活用した食育の推進	18	小・中・高校を対象としたお魚教室の実施	小・中・高校を対象に 12 回実施	水産課	
	19	郷土料理教室の実施	中学校で郷土料理普及活動を 2 回行った。(富江・三井楽)	農林課	
	グリーンツーリズム等の推進	20	観光物産課にて協議会を設置しているため各地域に周知を行う。(民泊の推進)	民泊家庭確保のための戸別訪問 14 件	観光物産課
	イベントを通じた市民と農林漁業関係者の交流促進	21	市内の直売所(いきいき五島など)との共催、協力のもと「8月31日」は野菜を食べようフェアキャンペーンを開催するため、4月～5月に協力依頼を行い6月から7月に検討を行う。	農林課が協賛し、8月1日～8月31日まで、天ざる(天ぷらとざるうどん)を五島がうまいのレストランで販売 五島がうまいの産直市場で、新鮮な野菜セールを開催していただきました。 8月31日には食育のティッシュを配布し、食育の推進を呼びかけた。	農林課
	料理教室の積極的な開催	22	小・中・高校を対象としたお魚教室の実施 16 回	小・中・高校を対象に 12 回実施	水産課
	23	生活研究グループ等により一般市民向けに周知を行い、各地域の公民館や老人ホームで料理教室を行うため、4月～5月に生活研究グループで検討し年に1～2回料理教室を開催する。	中学校で郷土料理普及活動を 2 回行った(富江・三井楽)	農林課	

具体的な取り組み		No.	事業	実施状況	担当課
(2) 食文化継承の促進	伝統料理の普及促進	24	市のHPで紹介(生活研究グループで作った郷土料理等)	郷土料理普及活動の様子をHPに掲載	農林課
	学校等給食への郷土料理の導入促進	25	生活研究グループ等に講師を依頼し料理教室の開催を行う	郷土料理教室を2回開催	農林課
	自主活動に対する支援	26	生活研究グループに対して支援していく。	生活研究グループへ研修会や料理教室開催の支援を行っている。	農林課
	食文化に関する知識普及及び情報提供	27	市のHPに郷土料理の紹介やレシピ等を掲載していく。各種イベント(農業まつりやつばき祭り)での郷土料理販売等	市のHPに郷土料理の紹介やレシピ等を掲載	農林課

◆数値目標の進捗状況 4. 生産者と消費者との交流促進と食文化の継承

項目	基礎値(H26)	R2		目標(R2)	担当課
		実績	達成区分		
農林水産物利用を進めるための体験の回数	5回	14回	A	12回	農林課 水産課
グリーンツーリズム等の民泊利用数	382人	0人	D	5,000人	観光物産課

基本施策：5. 地産地消の推進

具体的な取り組み	No.	事業	実施状況	担当課	
(1) 地産地消の情報発信	農林水産物に関する情報発信	28	旬な季節ごとの農産物情報を写真などでHP等に掲載していく(認定農業者等の農産物を現地の圃場で撮影または出荷する状況など)	農産物カレンダーや郷土料理普及活動の体験等をHPに掲載。	農林課
		29	お魚教室での地産地消の推進	小・中・高校を対象に12回のお魚料理教室を行った。またお魚料理教室では情報発信として、漁業士(漁師)による漁業の講話や水産課職員による五島市水産業の講話を行った。	水産課
	関係者のネットワークづくり	30	ホームページによる情報発信	郷土料理講習会の様子をHPに掲載	農林課
		31	料理教室等への参加者に生活研究グループ等の活動や発足について支援する。	生活研究グループへ研修会や料理教室開催の支援を行っている。	農林課
(2) 地場産物の消費拡大	学校・保育所給食での地場産物の利用促進	32	学校での郷土料理講習会の実施	郷土料理教室を2回開催	農林課
		33	学校給食での利用促進	利用促進に努めているが、食材確保が課題である。	教育委員会総務課
	飲食店、宿泊施設等での地場産物の利用促進	34	「五島市公認産品応援店」制度の利用促進	五島市公認産品応援店への登録数 51店舗	観光物産課
	地場産物を利用した魅力ある商品の開発支援	35	市物産振興協会と協同した市内事業者への新商品開発へのアドバイス及び支援の実施	研修会実施 0回	観光物産課
(3) 直売所の利用促進	生産者の確保と出荷の促進	36	直売所への連絡調整や出荷方法等についてHP等で情報提供していく。	HP掲載中引き続き掲載予定	農林課
	直売所利用促進の普及啓発	37	12月に開催される農業まつり(農協主催)において、農産物の販売を実施し、地産地消について市民アンケート等を実施し理解を深める。	今年度生活研究グループでの農産物の販売は実施できなかった。	農林課

◆数値目標の進捗状況 5. 地産地消の推進

項 目	基礎値 (H26)	R2		目 標 (R2)	担当課
		実 績	達成区分		
学校給食における地場産物（野菜）利用量割合	56.6%	45.3%	D	65%以上	教育委員会総務課
直売所の年間販売額	723,970千円	700,270千円	C	750,000千円	農林課

基本施策：6. 食の安全確保の推進

具体的な取り組み		No.	事業	実施状況	担当課
(1) カネミ油症事件を教訓とした取組	学校への情報発信と学習会の開催	38	カネミ油症について中学1年生教材「ふるさと長崎県」掲載、学校への出前講座、総合学習への支援	【出前講座】 盈進小学校教職員 10名、奥浦中学校 35名	国保健康政策課
	市民への食品中毒に関する学習会と啓発活動	39	カネミ油症について市民への出前講座、健康・食育フェスタでの啓発活動	カネミ油症事件 50 年記念誌配付	国保健康政策課
(2) 食品に関する情報提供	食品の安全性、食品衛生、食品表示等に関する情報の発信	40	広報、健康・食育フェスタで発信	食品衛生講話：11回	国保健康政策課

◆数値目標の進捗状況 6. 食の安全確保の推進

項目	基礎値 (H26)	R2		目標 (R2)	担当課
		実績	達成区分		
カネミ油症の実態を知っている市民の割合 (小学生以上)	86.8% (H27)	86.2%	C	100%	国保健康政策課
食品の安全性に関する情報発信する回数	4回	11回	A	10回	国保健康政策課

